

# 特定非営利活動法人 金澤町家研究会 定款

## 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人金澤町家研究会という。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を石川県金沢市東山2丁目1番7号に置く。

## 第2章 目的及び事業

(目的)

### 第3条

この法人は、金澤町家の継承・活用にむけて、町家居住や町家保存に関心のあるあらゆる人に対して、関係機関とも連携をとりながら、町家の継承・活用の促進に関する事業、町家の修復等に関する研修事業、町家を利用した交流事業、情報発信事業などを行う。それらの事業を通じて、貴重な都市資産である金澤町家が減少している傾向に歯止めを掛け、金沢市における風格と魅力ある街並み形成の促進および市民主体のまちづくりの推進に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

1. まちづくりの推進を図る活動
2. 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
3. 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。

- (1) 町家の継承・活用の促進に関する事業
- (2) 町家の調査事業
- (3) 町家修復のための研修事業
- (4) 町家を活用した交流事業
- (5) 町家の修復相談事業
- (6) 情報発信事業
- (7) この法人の目的を達成するために必要な上記の事業に付帯する事業

## 第3章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の3種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体
- (2) 学生会員 この法人の目的に賛同して入会した学生個人
- (3) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、賛助するために入会した個人及び団体

(入会)

第7条 会員の入会については、特に条件を定めない。

2 会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとし、理事長は、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。

3 理事長は、前項のものを入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(会費)

第8条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。
- (3) 継続して2年以上会費を滞納したとき。
- (4) 除名されたとき。

(退会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この定款等に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(抛出金品の不返還)

第12条 既納の会費及びその他の抛出金品は、返還しない。

#### 第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 3人以上5人以下
  - (2) 監事 1人以上2人以下
- 2 理事のうち、1人を理事長、1人を副理事長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

- 2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。
- 3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
- 4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(職務)

第15条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

2 理事長以外の理事は、法人の業務について、この法人を代表しない。